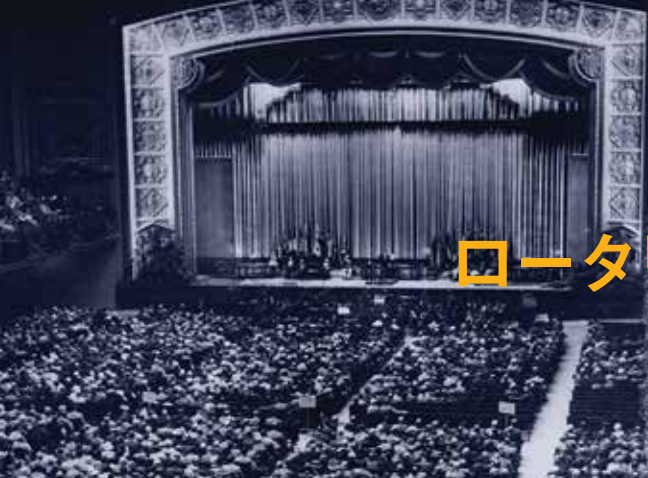


# ロータリー財団の主な出来事



1917年 米国ジョージア州アトランタで開かれたロータリー国際大会で、ロータリー会長アーチ・クランプが「世界でよいことをする」ための基金の設立を提案。



1917年 カンザスシティ・ロータリークラブ（米国ミズーリ州）から、最初の寄付26ドル50セントが基金に寄せられる。

1928年 ロータリー財団と正式に命名され、初代管理委員が任命される。

1930年 国際障害児協会（Easter Sealsの前身）へ500ドルを送り、これが財団の補助金第一号となる。

1947年 ロータリー創設者、ポール・ハリスが逝去。その後18カ月間に、ハリ

スを追悼する寄付100万ドル以上が財団へ寄せられた。

1947年 ロータリー財団初のプログラムとして「高等教育のためのロータリー財団奨学金」を開始。



1951年 アーチ・クランプ逝去。財団は300万ドル近くまで成長。

1957年 ポール・ハリス・フェローの認証を開始。

1965年 財団への年間寄付総額が初めて100万ドルを超える。

1965年 「研究グループ交換 (GSE)」「特別補助金」(後のマッチング・グラント)「技術研修プログラム」を開始。



1978年 「保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金」プログラムを創設。

1979年 3-Hプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人以上の子どもにポリオ予防接種を実施。



1980年 3-H委員会は、全世界でポリオを撲滅する目標年を2005年とすることを提案。規定審議会が「予防接種によってポリオを撲滅する」という立法案を承認。

1981年 「世界理解と平和のための基金」を設立。

1985年 「ポリオプラス」と「大学教員のための補助金」プログラムを開始。



1988年 米国ペンシルベニア州フィラデルフィアで開催されたロータリー国際大会にて、ポリオプラス・キャンペーンが、当初の目標1億2,000万ドルをはるかに上回る2億2,000万ドル近くを集めたことを発表。



1988年 ロータリーによる募金キャンペーンの成功を受けて、世界保健総会が全

世界ポリオ撲滅の目標を定め、「世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI)」を開始。

1988年 財団が米国イリノイ州エバンストンで第1回「ロータリー平和フォーラム」を開催。



1995年 全国一斉予防接種を支援する「ポリオプラス・パートナー」プログラムを開始。



1999年 ロータリー平和センターを創設。ロータリー平和フェロー第一期生が2002年秋より留学を開始。



1999年 ロータリー財団管理委員会が、財団に1万ドル以上の遺贈をした寄付者を認証する「遺贈友の会」を創設。

2004年 財団管理委員会が「Every Rotarian, Every Year」(EREY)の取り組みを開始。毎年、全ロータリアンが年次基金に寄付することを呼びかける。

2004年 財団に25万ドル以上を寄付した個人、夫妻、組織を認証する「アーチ・クラフ・ソサエティ」を創設。

2007年 ポリオ撲滅資金を集めるため、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーに対して1億ドルのチャレンジ補助金を授与。

2009年 ゲイツ財団が、ポリオ撲滅活動のためにさらに2億5,500万ドルをロータリーに授与。前述のチャレンジを2億ドルに引き上げ、ロータリーが集めた資金1ドルごとに、3ドル55セントが上乘せされることとなった。





2009年 飲料水や衛生施設・環境の改善のため、ロータリーとUSAIDが協同で「国際H2O協力」を発足。



2012年 2009年に始まったゲイツ財団の2億ドルのチャレンジに対して、ロータリーが目標額を上回る2億2,800万ドルの募金に成功。

2012年 1年間ポリオ無発生を達成したインドが、ポリオ常在国のリストから除外される。



2013年 ロータリーがポリオ撲滅のために集めた資金に対して、ゲイツ財団が2倍額を上乗せすることを発表（5年間、年間3,500万ドルまでの寄付が対象）。ロータリーは「End Polio Now:歴史に1ページを刻もう」キャンペーンを実施して募金に挑戦。



2013年 「未来の夢計画」の試験段階が終わり、財団は、地区補助金とグローバル補助金から成る新しい補助金モデルを全世界に導入。



2015 野生型ポリオウイルス常在国の数が2カ国に。

2017 アトランタ国際大会に世界中のロータリアンが集い、財団100年の軌跡を祝う。

